

新たな広域道路ネットワークの形成に資する  
八代・天草シーライン実現に向けての  
**要 望 書**



※写真は民間協力期成会により作成されたイメージです。

令和7年11月

八代・天草シーライン建設促進期成会  
八代・天草シーライン建設促進議員連盟  
八代・天草シーライン建設促進民間協力期成会  
天草・八代シーライン建設促進民間期成会

## 新たな広域道路ネットワークの形成に資する 八代・天草シーライン実現に向けての要望

熊本県の八代地域、水俣芦北地域、人吉球磨地域及び天草地域で構成される環八代海圏域は、九州の中心に位置し、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道、九州新幹線の整備により交通基盤が充実していることに加え、重点港湾である八代港においては、物流・人流の重要拠点として大型客船専用岸壁、クルーズ旅客ターミナル、コンテナターミナル等の整備により、海外からの大型クルーズ客船の寄港増加や、JASM 熊本工場の稼働開始を機に本格化している半導体原料の輸入に対応できる体制が整ってきております。このことで、八代港は、陸路・海路の要衝として、近年、物流・人流の拠点としての役割に対する期待が高まっております。

平成30年度に実施した「広域的な物流・観光等調査研究」において、産業面、観光面での経済波及効果が年間1,362億円に及ぶとする調査結果が報告され、八代港と八代・天草シーラインが一体となることで、環八代海圏域が、国内と東アジアを結ぶゲートウェイとして相乗効果をもたらすことが期待されます。

他方、近年では自然災害による甚大な被害が頻発しており、平成28年熊本地震や令和2年7月豪雨では、広範囲で道路が被災し、地域住民の安全・安心な生活が脅かされ、物流などの経済活動にも多大な影響が生じたところです。また、昨年1月に発生した能登半島地震においては、半島という地形のためアクセス道路が限られていた中で、地震により主要道路が通行困難になるという事態が生じました。

そのような中、本年8月10日から11日にかけて熊本県内で発生した記録的な大雨により、九州本土と天草地域を結ぶ唯一のライフラインである国道266号の天草2号橋と3号橋の間に土砂崩れが発生したことで、最も懸念していた道路の寸断が起これ、3号橋以西の天草地域は一時孤立状態となりました。迅速な土砂の撤去作業により、幸いにも長期の孤立には至りませんでした。今回以上の災害が発生し、土砂崩れのみならず、橋梁の崩壊等により国道266号が長期的に不通となった場合、令和6年能登半島地震と同様に、住民の命をつなぐための人や車両の派遣、機材、緊急物資の搬送などが困難となり、長期間の孤立や被災者支援、復旧対策などの大幅な遅れが強く懸念されるところです。“半島防災”の観点からも天草地域のセーフティネットとしての代替路確保が喫緊の課題となっております。

また、災害時における緊急輸送道路や代替路となり、新たな物流・人流のネットワークとして多方面における地域活性化の礎となり得る八代・天草シーラインの実現を求める署名が5万7千人に達するとともに、令和元年に開催した「八代・天草架橋

建設促進総決起大会」も成功をおさめるなど、これまでになく、地元の機運が高まってきております。

令和3年2月には、熊本県知事をトップとする「八代・天草シーライン建設促進協議会」が設立されるとともに、同年6月に熊本県が策定した「新広域道路交通計画」及び7月に国が策定した「九州地方新広域道路交通計画」に、八代・天草シーラインが構想路線として位置づけられるなど八代・天草シーラインの実現に向け、力強く、大きな一步を踏み出したところです。

このように、八代・天草シーラインの実現は、災害時における緊急輸送道路や代替路として国土強靱化の一環をなすものであるとともに、救急医療活動の向上、地域住民の安全・安心の確保の観点からも必要不可欠なものであり、九州縦貫自動車道（八代IC）及び八代港と熊本天草幹線道路（上天草市）とを結ぶ新たな物流・人流のネットワークとして多方面における地域活性化の礎となり、熊本県内のみならず、九州東岸軸と西岸軸を結ぶ広域道路ネットワークを飛躍的に強化し、我が国全体の活力向上に大きく寄与するものです。

さらに、海外からの大型クルーズ客船の八代への寄港数やインバウンド消費の増加、TSMCの進出による台湾との交流促進など、八代・天草シーラインの実現は、地域経済のみならず、九州の未来にも大きな希望をもたらすものであります。

つきましては、下記の事項について特段の御高配を賜りますよう要望いたします。

## 記

1. 災害に強い地域づくり及び八代海圏域、ひいては九州全域の広域的振興のために不可欠な八代・天草シーラインの早期実現を図ること
2. 九州縦貫自動車道（八代IC）及び八代港と熊本天草幹線道路（上天草市）を結ぶ八代・天草シーラインを軸とする新たな広域道路ネットワークにおける整備促進を図るため、事業化に必要な調査・検討に早急に着手すること

令和7年 11 月

八代・天草シーライン建設促進期成会

会長 八代市長 小野 泰輔

八代・天草シーライン建設促進議員連盟

会長 上天草市議会議長 嶋元 秀司

八代・天草シーライン建設促進民間協力期成会

会長 吉住 一郎

天草・八代シーライン建設促進民間期成会

会長 田島 章